

令和2年度

更別村教育委員会の活動状況
に関する点検・評価報告書

(令和元年度対象)

令和2年12月

更別村教育委員会

は じ め に

平成20年4月「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、教育委員会の事務管理・執行状況について点検し、評価をすることが義務付けられました。

この改正により、平成19年度分以降の教育行政に関する点検・報告につきまして、更別村議会に教育行政報告を行ってきているところです。

開かれた教育委員会を目指し、効果的な教育行政の推進に資するとともに、村民の皆様へ教育委員会が執行した活動状況はもとより、「第6期更別村総合計画」及び「第8次社会教育中期計画」を基準とした実施状況等、事務の管理・執行状況について点検し評価を行い、令和元年度の事業等を対象として報告書を作成しましたので、ここに公表致します。

更別村教育委員会は、学識経験者の意見を踏まえ、この点検・評価を通じて教育施策を着実に推進してまいりたいと考えていますので、ここに村民皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和2年12月

更別村教育委員会

目 次

第1章 教育委員会の活動状況

1. 教育委員会の会議の開催状況	5
2. 教育委員会関係規則等の制定及び改正状況	7
3. 教育委員会委員の活動状況	7
4. 各種委員会等の設置及び概況	10
5. 令和元年度教育予算の状況	12
(1) 予算編成	
○当初予算・補正予算	
(2) 教育費の予算	
(3) 重点施策に関連する主な事業決算額	
6. 頑張る子どもたちへの支援	16
7. その他	18
○令和元年度各会計決算資料の掲載事項	

第2章 第6期更別村総合計画に基づく評価

1 社会教育	20
2 芸術、文化	22
3 スポーツ	24
4 子育て支援	26
5 学校教育	28
6 青少年育成	31
7 国内外交流	32
◇ データ	33

8. 令和元年度 教育委員会の事務・事業 評価	36
(1) 評価の目的	
(2) 評価の区分	
(3) 評価書のランク	
(4) 事務・事業ごとの評価	
○事務・事業評価書	37

第 1 章 教育委員会の活動状況

第 1 章 の ポ イ ン ト

教育委員会の会議の状況や規則等の制定・改正、委員の活動状況、各種委員会の設置状況など、令和元年度に教育委員会が行った活動状況について整理しています。

1. 教育委員会の会議の開催状況

更別村教育委員会の会議は公開を原則として、以下のとおり開催しています。

この会議では、教育行政の基本方針の決定や教育に関する規則の制定・改正などを含む様々な議題について審議しています。

期 日	付 議 案 件 等
平成 31 年 4 月 19 日	(報告) ・平成 31 年度学級編制の認可及び児童生徒数等について 他 6 件 (議案) ・更別村社会教育委員の委嘱について 他 5 件
平成 31 年 4 月 26 日	(議案) ・更別村教育委員会職員人事の承認について
令和元年 5 月 1 日	(議案) ・更別村教育委員会職員人事の承認について
令和元年 5 月 20 日	(報告) ・平成 30 年度社会教育・社会体育施設利用状況について 他 3 件 (議案) ・学校給食センター運営委員会委員の委嘱について 他 2 件
令和元年 6 月 21 日	(報告) ・更別村どんぐり子供交流委員の委嘱について 他 1 件
令和元年 7 月 24 日 (移動教育委員会議)	(報告) ・令和元年度使用教科書の法定展示について 他 2 件 (議案) ・更別村立学校管理規則の制定についての一部改正について
令和元年 8 月 23 日 (移動教育委員会議)	(報告) ・教育委員会各種行事・動向について (議案) ・令和 2 年度から使用する教科用図書の採択について 他 2 件
令和元年 9 月 24 日 (移動教育委員会議)	(報告) ・更別村教育委員会委員の任命について 他 1 件 (議案) ・更別村立幼稚園管理規則の一部改正について 他 2 件

令和元年 10 月 21 日 (移動教育委員会議)	(報告) ・教育委員会各種行事・動向について (議案) ・令和元年度更別村文化賞・スポーツ賞等の決定について
令和元年 11 月 26 日	(報告) ・教育委員会各種行事・動向について (議案) ・令和元年度更別村教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書(案)の提出について 他 4 件
令和元年 12 月 18 日	(報告) ・令和 2 年度新就学予定児童・生徒数(見込)について 他 5 件
令和 2 年 1 月 24 日	(報告) ・教育行政報告について 他 2 件 (議案) ・地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係教育委員会規則の整備に関する規則の制定について
令和 2 年 2 月 17 日	(報告) ・学校等の臨時休校等について (議案) ・令和 2 年度更別村スクールバス運行計画の決定について 他 4 件
令和 2 年 3 月 19 日	(報告) ・学校等の臨時休校等について 他 2 件 (議案) ・教職員人事の内申について 他 4 件
令和 2 年 3 月 24 日	(報告) ・令和 2 年度各種職員の採用について (議案) ・更別村教育委員会職員人事の承認について

2. 教育委員会関係規則等の制定及び改正状況

令和元年度において制定及び改正された教育委員会関係規則等は次のとおりです。

○教育委員会関係規則等

番号	題 名	公布年月日	施行年月日
(元年)			
1	・ 更別村立幼稚園管理規則の一部を改正する規則制定の件	R1. 9. 25	R1. 10. 1
2	・ 更別村立認定こども園上更別幼稚園管理規則制定の件	R1. 9. 25	R1. 10. 1
(31年)			
2	・ 修学旅行の引率業務等に従事する更別村立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部を改正する要領制定の件	H31. 4. 26	H31. 4. 1
3	・ 更別村立学校職員の自家用車の公用使用に関する規程の一部を改正する規程制定の件	H31. 4. 26	H31. 4. 1
(元年)			
4	・ 更別村文化振興公演等助成金交付要綱の一部を改正する要綱制定の件	R1. 12. 1	R1. 12. 1
(2年)			
1	・ 修学旅行の引率業務等に従事する更別村立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部を改正する要領制定の件	R2. 3. 23	R2. 4. 1

3. 教育委員会委員の活動状況

教育委員会委員は、教育委員会の会議に出席するほか、学校行事、各種団体等の行事等に出席し、直接学校関係職員や地域の皆様のご意見を伺うなどの活動を行っています。

○主な活動状況

年月日	活 動 内 容	委員名
(31年)		
4/4	教職員辞令伝達式	佐藤委員他 3名
4/6	更別幼稚園入園式	佐藤委員他 3名
4/7	上更別幼稚園入園式	佐藤委員他 3名

4/8	更別小学校入学式 上更別小学校入学祝金贈呈 上更別小学校入学式 更別中央中学校入学式	梶浦委員 佐藤委員 佐藤委員他 1 名 佐藤委員他 2 名
4/9	更別農業高等学校入学式	佐藤委員他 3 名
4/19	第 1 回教育委員会議	佐藤委員他 3 名
4/26	第 2 回教育委員会議	佐藤委員他 3 名
(元年)		
5/1	第 3 回教育委員会議	佐藤委員他 3 名
5/13	十勝管内教育委員会連絡協議会役員会・総会（帯広市）	佐藤委員
5/14	北海道町村教育委員会連合会総会（札幌市）	佐藤委員
5/20	第 4 回教育委員会議	佐藤委員他 3 名
5/25	更別中央中学校体育祭	佐藤委員他 3 名
6/8	認定こども園上更別幼稚園・上更別小学校合同運動会	梶浦委員他 2 名
6/9	更別小学校運動会	佐藤委員他 3 名
6/21	第 5 回教育委員会議	佐藤委員他 3 名
7/7	更別幼稚園運動会	佐藤委員他 3 名
7/9～11	教育委員会道内研修・北海道市町村教育委員研修会 （江差町、北広島市、札幌市）	佐藤委員他 3 名
7/24	第 6 回教育委員会議	佐藤委員他 3 名
8/23	第 7 回教育委員会議	佐藤委員他 3 名
9/24	第 8 回教育委員会議	佐藤委員他 3 名
9/28	更別中央中学校文化祭	佐藤委員他 3 名
10/4	更別村教育研究大会（更別小学校）	佐藤委員他 2 名
10/21	第 9 回教育委員会議	佐藤委員他 3 名
10/26	十勝教育を考えるつどい（中札内村）	佐藤委員他 2 名

11/3	更別村文化賞・スポーツ賞等表彰式	佐藤委員他 3 名
11/9	上更別小学校・認定こども園上更別幼稚園合同学習発表会	佐藤委員他 2 名
11/10	更別小学校学習発表会	佐藤委員他 2 名
11/17	更別幼稚園保育発表会	佐藤委員他 3 名
11/19	市町村教育委員会新任委員研修会（札幌市）	本間委員
11/21	南十勝教育委員研修会（広尾町）	佐藤委員他 3 名
11/22	十勝管内教育委員会教育委員研修会（帯広市）	佐藤委員他 3 名
11/26	第 10 回教育委員会議	佐藤委員他 3 名
12/5	更別農業高等学校校内実践発表会	佐藤委員他 2 名
12/18	総合教育会議 第 11 回教育委員会議	佐藤委員他 3 名 佐藤委員他 3 名
(2 年)		
1/12	成人式	佐藤委員他 3 名
1/20	村づくり懇談会	佐藤委員他 3 名
1/24	第 12 回教育委員会議	佐藤委員他 3 名
2/16	更別村の教育を考える村民集会	佐藤委員他 3 名
2/17	二村教育委員研修会（中札内村） 第 13 回教育委員会議（中札内村）	佐藤委員他 3 名 佐藤委員他 3 名
3/19	第 14 回教育委員会議	佐藤委員他 3 名
3/24	第 15 回教育委員会議	佐藤委員他 3 名

4. 各種委員会等の設置及び概況

更別村教育委員会に設置している主な審議等の機関及び令和元年度における開催実績等は下記のとおりです。

名 称	委員 数	会 議 回 数	内 容	開催年月日
更別村学校教育推進協議会	12	3	学校教育の指向上を図るため、教職員の研究事業並びに小中学校等の文化、体育の各種事業を通じて教職員が交流を深め、もって児童・生徒の学力の向上と豊かな人間性を醸成に資することを目的とする。	H31. 4. 19 R 1. 5. 14 R 1. 10. 4
更別村小・中学校 学校運営協議会	10	2	(更別小学校) 保護者・地域住民等との信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善・児童生徒の健全育成に取り組むとともに、学校の支援組織として学校が協力を求める事業に積極的に関わる。	H31. 4. 25 R 1. 8. 21
	10	3	(上更別小学校) 同 上	H31. 4. 25 R 1. 8. 27 R 2. 2. 20
	10	3	(更別中央中学校) 同 上	H31. 4. 25 R 1. 8. 22 R 2. 2. 7
更別村教育支援委員会	9	3	就学児童や学齢児童・生徒の適正な就学指導、特別支援学級の活動を支援する。	R 1. 6. 24 R 1. 12. 6 R 2. 1. 24
更別村教育研究所	8	5	更別村教育の今日的な課題を明らかにするとともに、学校教育実践上の課題について調査研究を進め、教育推進の充実に資する。	R 1. 5. 17 R 1. 6. 12 R 1. 10. 21 R 1. 12. 23 R 2. 1. 29
更別村社会教育委員	7	4	社会教育全般に関する諸計画立案や調査研究を行う。	R 1. 5. 10 R 1. 10. 7 R 1. 12. 9 R 2. 3. 18(書面)

更別村スポーツ推進委員	5	5	スポーツ振興に関する調査研究や関係機関、団体等との連絡調整を図る。	R 1. 5.14 R 1. 7.16 R 1.10. 8 R 1.12. 9 R 2. 3. 6(書面)
更別村学校給食センター運営委員会	8	2	更別村教育委員会の諮問等に基づき学校給食センター運営の重要事項等の審議、協議を行う。	R 1. 5.29 R 2. 3. 5(書面)
どんぐり子供交流委員会	15	3	東松島市と更別村の児童が互いに市村を訪問し交流を行う事業の企画・運営を行う。	R 1. 6.12 R 1. 9.19 R 2. 3.18(書面)
総合誌さらべつ編集委員会	6	5	総合誌さらべつの原稿募集、編集、発刊を行う。	R 1. 7.17 R 1.10. 8 R 2. 1. 7 R 2. 2. 6 R 2. 3. 5(書面)
更別村コミュニティ・スクール委員会	11	2	各学校運営協議会・教育委員会・みんなの学校応援団等と連携を図り、意見・情報交換の場としてコミュニティ・スクール全般に関わることを協議する。	H31. 4.25 R 1.11.28

5. 令和元年度教育予算の状況

(1) 予算編成

○当初予算・補正予算

「更別村教育目標」には、大きな4つの柱があります。

- 1) 人と人との関わりや生命を大切に、積極的に運動し自らを鍛え、強い意志と美しい心を持ち、日々の生活を楽しいものにする。
- 2) 世の中の情報に関心を持ち、自ら考え正しい判断をし、相手の立場を認め思いやりを持ち、豊かな生活を築く。
- 3) 自ら学び続けて教養を身につけ、文化に触れて心豊かな生活を生み出す。
- 4) 先人の努力に学び、恵まれた自然を生かし、歴史や伝統を踏まえ、平和で心豊かな潤いのある生活を生み出す。

4つの教育目標の実現を図るため教育行政執行方針を基に「第6期総合計画」で掲げている事業を推進し、その関連に沿って施策の見直しを行い、教育に対する村民の意識や関心を高め、家庭・学校・地域が連携協働のもと、学校教育、社会教育の発展を図るため、諸般の施策を限られた財源の中で重点的・効果的に活用することを基本とし予算編成を行いました。

学校教育の充実では、豊かな心と確かな学力の定着を目指し、自ら問題を解決するための資質と能力「生きる力」を育み、自主性を高め、主体的・対話的で深い学びが得られる学校づくりを推進しました。

学習指導要領改訂に伴う令和2年度からの小学5・6年生の外国語教科化に対応するため外国語指導助手（ALT）のサポート体制を充実し、新たに配置した国際交流員が小学3・4年生の外国語活動と中学生の英語授業に関わることで、外国語教育の一層の充実と国際理解教育の推進を図りました。

同じく令和2年度から必修化されるプログラミング的思考を育てる教育を見据え、教職員及び児童向けの実践研修、地域での体験教室、ボランティア指導者の養成講座を実施しております。

いじめや虐待が原因と思われる事件をはじめ、体罰・不登校問題など様々な事案が社会問題化しております。学校・家庭・地域の連携協力のもと早期発見と早期対応に努め、児童・生徒・保護者の皆さんが相談できる体制づくりとしてスクールカウンセラーを引き続き配置したところです。

教育上の特別な配慮が必要な児童生徒に対し、各学校に特別支援教育支援員を配置し、児童生徒の状況に応じたきめ細やかな学習体制の構築を図っております。

教職員の教育力向上及び研修活動の推進に関し、中札内村との指導主事の共同設置を継続して行い、積極的な情報提供や研修活動の推進を図りました。

上更別幼稚園は地域における子育て環境の充実を図るため、0から2歳児の保育、子育て支援などの機能を併せ持った認定こども園として整備し、平成30年4月から運営を開始しております。

更別農業高等学校への教育支援では、生徒確保の観点から通学環境の整備としてスクールバス負担や寮生の土日の滞在経費等への助成を行うとともに、海外実習生の派遣助成、農業クラブ大会等への助成、各種資格取得経費への助成などを継続して実施しました。

また、校舎等の改修及び設備備品等の整備についても北海道教育委員会へ要請活動を継続して行っており、厳しい道予算の中においても毎年予算配分が成されております。令和元年度は、校舎敷地内に野積みされていた大量の伐採木及び枝の処分と農業実験室の屋根改修工事が実施されたところです。

学校施設設備の改修では、更別小学校で循環ポンプを更新。上更別小学校で体育館の玄関床補修、音楽室床貼替、地下タンクライニング工事を施工。両小学校でアスベスト対策改修工事を行い、更別中央中学校では物置電源引込工事を実施したところです。

生涯学習・社会教育の推進につきましては、「第8次社会教育中期計画」に基づき事業を推進しております。

青少年教育では、子どもたちの社会性を育むための事業を目的とした個人・団体に、こども夢基金事業として活動助成を行いました。

また、姉妹都市であります東松島市は未だ東日本大震災の復興途中であります。両市村の子どもたちが参加する「どんぐり子供交流事業」を継続して実施しており、令和元年度は東松島市で交流を深めました。

成人教育として「ときめき夢民講座」を開講しており、受講者へのアンケートを通じて魅力ある講座の実施に努めるとともに、家庭教育学級・連合PTA活動への支援を行っております。

高齢者教育に関しては社会教育指導員を継続して配置し、末広学級活動への支援を行ったところです。

地域とともにある学校を目指し、2年間の準備期間を経て令和元年度に「更別村コミュニティ・スクール(学校運営協議会)」が立ち上がり、各校協議会の計画に基づき地域と関わりを持った活動が展開されております。

文化の振興では、文化協会及び郷土芸能の活動発展のため支援を継続して行い、また、文化芸術振興事業として「さらべつ音楽祭」の開催に対しても支援をしたところです。

スポーツ活動の振興では、各スポーツ団体及びスポーツ少年団活動への支援、子どもたちの活躍に伴う各種競技大会等への派遣を行い、秋空の下多くの参加をいただきどんぐり健康マラソンも実施しました。

施設整備については、農業者トレーニングセンターのトイレの洋式化改修工事を実施したところです。

(2) 教育費の予算

令和元年度教育費の予算現額は456,614千円で一般会計予算額の約8.15%を占め、前年度と比較し6,492千円の増額となりました。

教育費における項・目別予算現額の内容は次のとおりです。

○令和元年度教育費予算額の内容(項・目別予算)

(単位：千円)

項及び目	予算額	項及び目	予算額
1 教育総務費	149,737	5 社会教育費	37,262
(1) 教育委員会費	34,362	(1) 社会教育総務費	24,712
(2) 事務局費	114,733	(2) 社会教育施設費	12,550
(3) こども夢推進費	642	6 保健体育費	74,615
2 小学校費	91,655	(1) 保健体育総務費	3,445
(1) 学校管理費	89,905	(2) 体育施設費	44,096
(2) 教育振興費	1,750	(3) 学校給食費	27,074
3 中学校費	28,002	7 教育諸費	12,957
(1) 学校管理費	26,007	(1) 研究奨励費	6,559
(2) 教育振興費	1,995	(2) 学芸奨励費	4,583
4 幼稚園費	62,386	(3) 財産管理費	1,815
(1) 幼稚園管理費	62,386		
		計	456,614

(3) 重点施策に関連する主な事業決算額

施策名：高等学校教育の振興・支援（教育総務費補助金）

【単位：千円】

事業名	事業概要	決算額
更別農業高校教育支援事業	更別農業高校の寮運営、農業関係活動費等の支援及び海外実習生の派遣支援を行うことにより、教育の振興発展と地域に根ざした信頼される学校づくりを図る。	4,128
更別農業高校生徒確保等支援事業	公立高等学校配置計画による学校再編が進む中、現行の学級数維持を図るため、村内外の入学者に対する通学費等の補助をもって高校の活性化を図る。	24,132

施策名：教育環境・内容の充実（小学校）

【単位：千円】

事業名	事業概要	決算額
特別支援教育支援員配置事業	一人ひとりの子どもに対するきめ細やかな対応に資するため両小学校に特別支援教育支援員を配置し、良好な学習環境の拡充を図る。 ・特別支援教育支援員 4名	10,354
外国語指導推進事業	外国語教育の充実と国際理解教育推進向上を図る。 ・外国語指導助手（ALT） 小学5・6年生各60時間対応	952
施設改修事業 （更別小学校） （上更別小学校） （2校共通）	施設の整備を行い教育環境の向上を図る。 ・循環ポンプ更新 ・地下タンクライニング工事 他 ・アスベスト対策改修工事（実施設計含む）	38,773 (680) (3,402) (34,691)

施策名：教育環境・内容の充実（中学校）

【単位：千円】

事業名	事業概要	決算額
特別支援教育支援員配置事業	一人ひとりの子どもに対するきめ細やかな対応に資するため中学校に特別支援教育支援員を配置し、良好な学習環境の拡充を図る。 ・特別支援教育支援員 1名	2,566
スクールカウンセラー配置事業	専門的な知識を持つスクールカウンセラーを配置し、子どもや保護者への心のケア・支援を行う。	1,264
施設改修事業	施設の整備を行い教育環境の向上を図る。 ・物置電源引込工事	256

施策名：国際感覚の醸成（社会教育総務費）

【単位：千円】

事業名	事業概要	決算額
国際交流事業	地域に根差した国際活動を通じ、子どもから高齢者まで気軽に英語に接する機会を設け、国際感覚を身に付けるための取組みを推進する。 ・国際交流員 1名配置	3,048

施策名：プログラミング教育環境の整備（社会教育総務費）

【単位：千円】

事業名	事業概要	決算額
プログラミング教育事業	小学校学習指導要領が令和2年度に改訂されプログラミング教育が必修化されることに伴い、体験の場を通じて子どもたちのプログラミング的思考を育てるとともに、指導的立場となるボランティアの育成を図る。	805

施策名：高齢者の学習活動支援（社会教育総務費）

【単位：千円】

事業名	事業概要	決算額
高齢者教育推進事業	高齢化社会にあって、高齢者が生涯学習を通じて生きがいづくり及び社会参加を行う等の事業を開催。ボランティアや地域づくりの促進を図る。	941

施策名：文化芸術鑑賞、芸術・文化活動の支援振興（社会教育総務費）

【単位：千円】

事業名	事業概要	決算額
青少年教育推進事業	青少年に芸術鑑賞や交流体験の機会を提供し、心の豊かさやゆとりを実感できる文化活動の振興・発展を図る。	3,885
文化推進事業	各種芸術鑑賞機会を提供するとともに、地域文化活動の推進と全村的な文化活動の振興・発展を図る。	3,462

施策名：スポーツの振興、活動の支援（保健体育総務費）

【単位：千円】

事業名	事業概要	決算額
スポーツ振興事業	スポーツを通じて住民の体力づくりや地域づくりを行い、スポーツ活動の振興・発展を図る。	2,709

施策名：社会体育施設の充実（体育施設費）

【単位：千円】

事業名	事業概要	決算額
体育施設改修事業	効率的な改修を行い施設の長寿命化と社会体育体制の確保を図る。 ・トレーニングセンター改修（トイレ改修）	3,410 (3,410)

施策名：給食の安心・安全の支援（学校給食費）

【単位：千円】

事業名	事業概要	決算額
ふるさと給食助成事業	食育教育の一環として、安心して安全な食材を提供するとともに地産地消の推進を図る。	1,500
保護者負担軽減事業	子育て支援のため、多子世帯の給食費の助成を行い負担軽減を図る。	2,826

施策名：教育体制の充実（研究・学芸奨励事業補助金）

【単位：千円】

事業名	事業概要	決算額
教育奨励事業	小学3・4年生用に作成している副読本「さらべつ」について、4年に一度の内容更新を図り、郷土を知り、学ぶ教材として活用を図る。	3,959
学校教育推進協議会助成事業	学校教育の指導向上のため研究実践活動・教員の研修等を行い、自ら学び自ら考える力の定着など生きる力を育む教育の推進を図る。	1,775
小中学校文化・スポーツ大会派遣事業	児童・生徒の全道・全国大会への派遣支援として助成を行い、文化・スポーツの推進を図る。	2,803

6. 頑張る子どもたちへの支援

児童・生徒等の各種大会出場及び結果

大会名	派遣先	派遣月日	被派遣者	成績
第74回国民体育大会（卓球競技）北海道予選会	函館市	R1. 6.28 ～30	吉田理央 （中央中3年）	少年女子：Aブロック2 回戦敗退
第40回北海道中学校水泳大会	函館市	R1. 7.26 ～28	木村雅兜 （中央中2年）	男子50m自由形 ：予選敗退 男子200m個人メドレー ：予選敗退
第40回北海道中学校ソフトテニス大会	千歳市	R1. 7.30 ～8.1	石村真珠・森田風薫樹 （中央中3年）	女子ダブルス ：2回戦敗退

令和元年度北海道卓球選手権大会（カデットの部）	旭川市	R1. 9. 13 ～16	岡田 萌 （中央中2年）	女子シングルス ：1回戦敗退
2019年度北海道卓球選手権大会（一般の部）	札幌市	R1. 10. 11 ～13	吉田理央 （中央中3年）	女子シングルス ：2回戦敗退
第10回道連中学部強化研修大会兼クリスマスカップ派遣選手選考大会	美唄市	R1. 10. 19 ～20	高瀬美咲・水口歩美 （中央中2年） 益田璃音・今井優来 （中央中2年）	Eブロックリーグ戦 ：3位 Hブロックリーグ戦 ：1位
第52回北海道中学校スキー大会	夕張市	R2. 1. 16 ～18	松田菜乃葉 （中央中1年）	女子ジャイアントスラローム ：1本滑走
第50回北海道中学校スケート大会	釧路市	R2. 1. 11 ～13	<p><男子> 木村雅兜 （中央中2年） 半田 快 （中央中2年） 横山稜空 （中央中1年） 庄司連月 （中央中1年） 野々村悠誠 （中央中1年） 小林 瑞 （中央中1年）</p> <p><女子> 内海花梨 （中央中3年） 田中蘭珠 （中央中3年） 木本優羽 （中央中1年）</p>	<p>1,000m：17位 1,500m：4位 500m：予選敗退 1,500m：22位 1,500m：24位 3,000m：予選敗退 500m：予選敗退 3,000m：予選敗退 1,000m：予選敗退 3,000m：予選敗退 500m：予選敗退 1,000m：予選敗退 男子2,000mリレー ：7位 学校対抗男子：11位</p> <p>500m：5位 1,000m：9位 1,000m：10位 1,500m：19位 1,000m：11位 3,000m：予選敗退</p> <p>学校対抗女子：11位</p>

第 40 回全国中学校スケート大会	長野県 長野市	R2. 2. 1 ～ 4	<男子> 木村雅兜 (中央中 2 年) 半田 快 (中央中 2 年) 横山稜空 (中央中 1 年) <女子> 内海花梨 (中央中 3 年) 田中蘭珠 (中央中 3 年) 木本優羽 (中央中 1 年)	500m : 22 位 1,000m : 19 位 500m : 予選敗退 1,500m : 予選敗退 1,000m : 予選敗退 1,500m : 予選敗退 学校対抗男子 : 26 位 500m : 10 位 1,000m : 21 位 500m : 予選敗退 1,500m : 23 位 1,000m : 予選敗退 1,500m : 予選敗退 学校対抗女子 : 20 位
-------------------	------------	-----------------	--	--

7. その他

○ 令和元年度各会計決算資料の掲載事項

- *学級数・児童生徒数・教職員数の状況 (P13) *農村環境改善センター利用状況 (P14)
- *農業者トレーニングセンター利用状況 (P14) *柔剣道場利用状況 (P14)
- *コミュニティプール利用状況 (P15) *学校等別給食日数の状況 (P16)
- *学校給食主食形態別内訳 (P16)

第2章 第6期更別村総合計画に基づく評価

第2章のポイント

平成29年度に策定された「第6期更別村総合計画」(計画期間2018年度から2027年度・以下「総合計画」という。)に沿って教育委員会活動の点検・評価を行っています。

具体的には、総合計画の基本計画が全6章で構成される中で、教育委員会に係る第5章「人が育つまちづくり」中の目標について、令和元年度の実施状況を中心に点検し評価を行っています。

1 社会教育

【基本的な考え方、取り組み方針】

「社会教育中期計画」に示す社会教育振興の基本方針に基づき、生涯学習の観点に立った住民の自主的な社会教育活動を推進します。

【施策】

- ・ 社会教育を推進する体制の充実
- ・ 社会教育に関する情報提供の充実
- ・ 学習機会の提供、充実
- ・ 高齢者の学習活動支援

◇推進状況

目 標	社会教育を推進する体制の充実
現状・成果	中札内村との広域連携事業として園児及び小中学生を対象とした青少年劇場を開催し、普段目にするのできない舞台芸術鑑賞の機会を提供した。また、高齢者学級の交流事業についても引き続き実施し、二村住民の親交を深める機会となった。 社会教育施設は維持に必要な予算計上と利用調整のもと適正管理に努めている。
課 題	幅広い社会教育活動を展開するためには各分野において精通した指導者やリーダーの育成が求められる。

目 標	社会教育に関する情報提供の充実
現状・成果	広報紙面・広報折込・防災無線・ホームページを活用し、各種情報を随時提供している。 各団体・サークルの活動は頻繁に紹介する機会はないが、文化関連であれば総合文化祭あるいは総合誌さらべつで作品紹介、スポーツ関係であれば広報紙上で大会結果をお知らせし、際立った活動は広報担当課で取材の上紙面掲載を行っている。
課 題	教育委員会主催事業であればお知らせや募集など適時情報を発信しているが、自主運営団体等については内輪で終わらせてしまうことも多いことから活動が見えづらい感もあり、ひいては会員の固定化や高齢化に繋がり運営に支障が生じるおそれがある。

目 標	学習機会の提供、充実
現状・成果	各種講座や教室を開設し、学習機会の提供に努めている。また、住民の学習ニーズに対応するため、村内外問わず指導者の紹介を行っている。 総合文化祭などで学習成果の発表の機会を設け、学習意欲の向上を図ってきた。
課 題	講座の開設にあたり、ゆくゆくは自主運営活動に繋がるようなものにしていかなければならない。 講座指導者の大半は村外講師に頼っていることから、指導者として活躍できる人材の育成が必要である。

目 標	高齢者の学習活動支援
現状・成果	例年同様高齢者学級である「末広学級」への活動支援を実施。毎月第2・4水曜日の学級開設のほか各部の活動も精力的に行われており、高齢者がいつまでも元気で生活でき、社会の一員として地域に貢献できる活動の場として効果を上げている。
課 題	生きがい対策としての学習活動の場としてはもちろん、文化や長年培った経験を若い世代へ伝えていく機会が少ない。

2 芸術、文化

【基本的な考え方、取り組み方針】

芸術文化を通して心の豊かさやゆとりを実感できるよう、芸術文化に親しむ場や機会をつくれます。

更別固有の郷土芸能や文化財等を保護・保存し、後世に継承するため、ふるさと教育を推進します。

【施策】

- ・ 図書室の充実、利用促進
- ・ 芸術文化活動の支援、鑑賞機会の提供
- ・ 文化財の保護、活用
- ・ 郷土芸能、伝統技術の伝承

◇推進状況

目 標	図書室の充実、利用促進
現状・成果	農村環境改善センター図書室は限られたスペースではあるが、住民からの意見も参考に専任司書による図書内容の充実に努め、イベントの開催と併せて気軽に図書室を利用してもらえるよう取り組みを行っている。 また、図書室の利用が困難な上更別地域の子どもたち向けに毎月2回移動図書館を開設し、利用促進を図っている。
課 題	蔵書数の充実について時折要望が挙げられるが、スペース確保は増築を伴うためニーズと財政状況を勘案しつつ、現行状況の中でより多くの住民利用に向け更なる創意工夫が必要である。

目 標	芸術文化活動の支援、鑑賞機会の提供
現状・成果	文化協会を通じて各文化団体への支援を継続して行い、活動促進を図っている。 未就学児童・小学生・中学生向けに中札内村と共同で「青少年劇場」を開催し、普段接する機会の少ない本格的な芸術鑑賞の機会を設けた。 また、村内団体が主催する文化振興公演等の支援を行い、地域文化活動の活性化に繋げた。
課 題	文化協会加盟単協は高齢化による会員減少・活動停滞が危惧されており、新規会員の獲得が課題となっている。 また、新たな単協創設に向け、そのきっかけづくりになるような講座の開講が必要である。

目 標	文化財の保護、活用
現状・成果	村の変遷上重要な拠点に整備した史跡銘板を維持管理し、歴史の保存意識を深めている。 学術的にも貴重とされている北海道指定天然記念物「ヤチカンバ」については絶滅が危惧されていることから平成 16 年度より調査育成を行っており、育苗した苗をヤチカンバ保護地区及び各小中学校敷地内へ移植。子どもたちに対する自然環境保全の意識高揚を図っている。
課 題	「ヤチカンバ」は定期的な育成状況と先駆樹種の調査を継続して行い、関係機関と協議の上、適切な保護対策を継続していく必要がある。

目 標	郷土芸能、伝統技術の伝承
現状・成果	郷土芸能の「さらべつかしわ太鼓保存会」「スッチョイサ踊り保存会」へそれぞれ活動支援を行っており、村内外の行事等で活動成果を発表している。 「かしわ太鼓保存会」は、少年部の指導を通じて後継者の育成を図っている。 「スッチョイサ踊り保存会」は社会教育事業（子供交流事業など）と連携し、小学生の体験活動を通して普及活動に努めている。
課 題	今後も活動支援を行い保存・継承に努めていくが、「スッチョイサ踊り保存会」は高齢化が進んでいるため、後継者育成が必要な状況にある。

3 スポーツ

【基本的な考え方、取り組み方針】

明るく豊かで活力に満ちた社会づくりや住民の心身の健全な発達を促進するため、生涯にわたってスポーツに親しめるよう努めます。

【施策】

- ・ スポーツ施設の充実
- ・ スポーツの振興体制づくり
- ・ スポーツに関する活動の促進

◇推進状況

目 標	スポーツ施設の充実
現状・成果	<p>農業者トレーニングセンター、柔剣道場、コミュニティプール、運動広場、地区体育館の他、学校体育館等は学校開放事業として住民の利用に供している。屋外施設ではソフトボール場及びテニスコートに照明施設を設置し夜間の利用に対応。スポーツ環境の充実を図るため、施設の適切な維持管理に努めている。</p> <p>また、地域柄盛んなスピードスケート振興のため、村民グラウンドに冬季間スケートリンクを整備。委託により製氷管理を行っている。</p> <p>なお、教育委員会管轄外施設にはなるが、ふるさと館屋内広場及び屋外広場、屋内ゲートボール場、どんぐり公園パークゴルフ場等も幅広い年代からスポーツの場として利用されている。</p>
課 題	<p>スポーツ施設は充実しているが、利用者の固定化・少子化・高齢化などで利用者数は減少傾向にある。また、利用希望の時間帯が重複するなどのケースもあることから有効利用に向けた調整が必要。</p>

目 標	スポーツの振興体制づくり
現状・成果	スポーツ活動を行うにあたり指導者の確保は不可欠であることから、研修派遣助成制度を設けて指導者の養成及びレベルアップを促進している。
課 題	少年団活動の種目によっては指導者確保が困難な状況も聞き及んでいる。一定レベル以上の技術指導を行う外部講師が必要なのか、保護者を含めた地域住民での対応で可能なのか、相談内容に応じ、継続して活動を行える体制づくりをサポートする必要がある。

目 標	スポーツに関する活動の促進
現状・成果	少年団及び成年層で組織する各スポーツ団体の自主的な運営に対して活動支援を行っており、それぞれ大会等を開催し活発に活動している。 トレーニングセンターでは曜日毎に種目別スポーツの日を定め、利用しやすい環境整備を図っている。
課 題	スポーツは個人の健康や体力に応じて一人ひとりが自主的に取り組むことを基本に、軽スポーツなど誰もが気軽に楽しめる種目の発掘・普及が必要である。

4 子育て支援

【基本的な考え方、取り組み方針】

子どもを安心して産み育てられる子育て支援環境づくりに取り組みます。

【施策】

- ・ 子育ての支援体制、サービスの充実
- ・ 子育てへの不安の解消
- ・ 子どもが遊ぶ場や機会の拡充

◇推進状況

目 標	子育ての支援体制、サービスの充実
現状・成果	総合計画の教育委員会所管分掌中、幼保小の連携について、更別小学校区では幼保小の園児・児童の交流及び教職員の研修を定期的実施し、上更別小学校区では幼小合同の運動会及び学習（保育）発表会を例年同様行っている。また、様々な会議等の場面で情報交換を図っている。
課 題	現場・保護者からの声をくみ取り、不足の部分は補強し更なる連携充実に繋げることが望ましいが、小学校では教科増をはじめ教職員の長時間労働解消に向けた取組を進める必要があり、限られた時間の中で効率的に取り組まなければならない。

目 標	子育てへの不安の解消
現状・成果	総合計画で掲げる教育委員会所管分掌関係で、各幼稚園・小学校及び中学校家庭教育学級への助成で活動支援を継続。 また、子育てに係る経済的負担軽減策として、要保護・準要保護児童就学援助、特別支援教育就学奨励、学校給食費保護者負担軽減助成、ふるさと給食助成、中央中から更農高へ進学する生徒への被服支援助成を行っている。
課 題	効果的な施策が新たに必要と認められる場合、積極的に検討を進める必要がある。

目 標	子どもが遊ぶ場や機会の拡充
現状・成果	<p>教育委員会所管施設で子どもが自由に遊べる空間として、屋外では更別農村公園・更別運動広場・上更別運動広場が、屋内ではトレーニングセンター及び改善センターロビーを整備。</p> <p>小・中・高校生、地域住民、高齢者との交流を様々な場面で実施している。</p>
課 題	<p>冬季に利用できる公園的な遊び場の整備は財政的に困難と考える。</p> <p>遊び場については凡その住民が認識していると思われるが、継続して情報を発信し浸透を図る必要がある。</p>

5 学校教育

【基本的な考え方、取り組み方針】

児童・生徒一人ひとりが、地域でのびのびと学校生活を送れるよう、教育環境と教育内容の充実に努めます。

【施策】

<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校の教育環境の充実 ・ 小中学校の教育内容の充実 ・ 教育体制の充実 ・ 高等学校教育の振興・支援

◇推進状況

目 標	小中学校の教育環境の充実
現状・成果	<p>学校施設の老朽化に伴う修繕等は、現状把握のうえ総合計画に掲げて年次的に整備している。</p> <p>情報教育に係る環境整備は状況に合わせて随時実施してきた。次年度は国策によるGIGAスクール構想に沿った整備を予定。</p> <p>スクールバス車両は総合計画に基づき年次的に更新予定。運行委員会の意見を踏まえ、効率的な運行体制の維持に努めている。</p>
課 題	<p>大規模修繕は見通しの上年次的に計画を立てているが、経年とともに大小の突発的な修繕も発生している。村の財政事情を考慮しながら特定年度に偏らないよう予算配分の平準化を図る必要がある。</p> <p>国策には国庫補助が伴うが自己負担も発生する。事業が大きければ負担額も増加し、更にランニングコストを要することから、維持を含めた費用負担を関係機関と連携し国へ求めていく。</p> <p>バスについても相当額の更新費用が予想されるため、車両規模等を考慮の上コストを抑えつつ適正な車両を確保する必要がある。</p>

目 標	小中学校の教育内容の充実
現状・成果	<p>学力向上へ向けては、基礎的・基本的な内容の習得を基軸に体験的・問題解決的学習で興味・関心を持たせ、新学習指導要領の趣旨を踏まえて主体的・対話的で深い学びを追求する授業となるよう年間指導計画に基づいて取り組んでおり、全国学力・学習状況調査では小学校で国語・算数の一部領域で全国を上回り、中学校では国語・英語の全領域と数学の一部領域で全国を上回った。</p> <p>体力向上の面では、新体力テストの分析を踏まえた体育授業の充実はもとより食育や日常生活での体育的活動の実践へも配慮した教育を進め、全国体育・運動能力、運動習慣等調査では小学校男子で全8種目中7種目で全国を上回り、女子は立ち幅跳びで上回る結果に。中学校では男子が8種目中4種目で、女子は6種目で全国を上回った。</p> <p>小中では円滑な接続に向けた連携が重要であることから、校長会議、教頭会議をはじめ、教育研究所や教育支援委員会等の場を活用し教諭段階においても積極的に情報交換を行った。</p> <p>特別な支援を要する児童生徒に対して引き続き特別支援員を配置し、きめ細やかな教育環境の実現に努めた。</p> <p>安全安心の学校給食を提供するため、JAさらべつをはじめ生産者の顔が見える事業者を食材仕入先として選定している。</p> <p>新学習指導要領改訂に伴う令和2年度からの小学5・6年生外国語授業教科化へ向け、担任とALTにより50時間の外国語活動を実施。また、3・4年生についても担任と国際交流員により15時間の活動を行っている。</p> <p>ふるさと教育についてはこれまでも小学3・4年生段階で副読本を使った地域の歴史・産業等の学習をはじめ、地域団体等の協力を得て収穫体験や異世代交流等を実施している。</p>
課 題	<p>学力及び体力向上に向けた取組に完成形はなく、検証サイクルと指導方法の工夫改善を毎年進化させる必要がある。</p> <p>中1ギャップは少なからずあり、一歩進んだ連携方法の検討が必要。</p> <p>特別支援員は必要な人員が常に確保されるよう、情報収集に努めなくてはならない。</p> <p>給食に関しては食材の安全は確保されているが、給食施設の経年により現在の基準に合わない部分があることから検討が必要。</p> <p>一層進むグローバル社会を見据えると、外国語は形式的なものではなくネイティブへとシフトした授業展開が求められる。</p>

目 標	教育体制の充実
現状・成果	<p>村教育研究所、十勝教育研修センター、道立各教育センター等の研修機関への積極的な参加を奨励し、教職員の指導力向上に向けた取組を進めているほか、中札内村との指導主事共同配置を継続しており、教職員への指導、助言、情報提供等を行い教育力の向上を図っている。</p> <p>令和元年度は地方教育行政法に基づくコミュニティ・スクールを導入。各学校運営協議会での意見交換をはじめ、目指す子どもの姿の協議へ向けたアンケートを実施した。</p> <p>スクールカウンセラーは1名を配置。昨年度は70日の活動の中で、子ども、保護者の心のケアを行っている。</p> <p>教職員住宅は築40年を経過しているものもあるが、必要な改修等を行い適正な管理に努めている。</p>
課 題	<p>コミュニティ・スクールは地域がより関わる意識を醸成するため積極的に活動・情報提供を行う必要がある。</p> <p>スクールカウンセラーの活動は即成果が表れるものではなく、不登校ひとつを取ってみても要因は様々であり、状況に応じた地道な取組を続けなければならない。</p> <p>教員住宅は経年状況を見極め、整備が必要なものは検討を進めていく。</p>

目 標	高等学校教育の振興・支援
現状・成果	<p>道立更別農業高等学校の教育振興及び地域に根ざした信頼ある学校づくりを進めるとともに学校存続に資するため、生徒確保に向けた様々な事業に対して支援を継続。令和元年度は対前年度2名増の生徒数を確保した。</p>
課 題	<p>地域へ密着した学校であり生徒確保は最重要課題であるが、支援には毎年多額の費用を要することから、財政状況を考慮しつつ最大限効果を得られるよう内容を検討する必要がある。</p>

6 青少年育成

【基本的な考え方、取り組み方針】

家庭・学校・地域と連携し、地域とのかかわりを通して青少年の健全な育成に努めます。

【施策】

- ・ 青少年育成を推進する意識づくり、体制の充実
- ・ 青少年を育成する活動の促進

◇推進状況

目 標	青少年育成を推進する意識づくり、体制の充実
現状・成果	村では子どもたちの健やかな成長を地域・家庭・学校が一体となって見守り育てていくことを目的に「更別村教育の日」を制定しており、2月第3日曜日に「更別村の教育を考える村民集会」を開催し、地域が子どもたちを育む意識の醸成を図った。 また、家庭教育学級及びPTAの活動充実に繋げるため運営費用の支援を継続して行っている。
課 題	一部の住民の取り組みに終わらぬよう、地域全体を巻き込む環境づくりが必要である。

目 標	青少年を育成する活動の促進
現状・成果	少年団活動は団体生活での社会性・自主性を育む良い機会であることから活動への支援を継続している。他にも地域子ども会への活動助成、子ども交流事業への運営助成を行い、平成20年度からは「こども夢基金」を活用し、子どもたちの多様な体験への事業支援を行ってきた。 また、本村の勤労青年で構成する「更別村農村青少年連合会」への活動支援を通じてこれからの地域を担う人材育成を行っている。
課 題	現在行われている事業の実施状況を随時確認して子どもたちのため継続を要するものは継続し、新たな活動が出てきた場合には柔軟な対応を図る必要がある。 こども夢基金事業は、村内に事務所又は住所を有する青少年教育に関する事業を行う団体もしくは個人を助成対象としているが、申請件数が少数に止まっている現状にあることから、幅広い活用を促すため更なる内容検討と周知が必要である。

7 国内外交流

【基本的な考え方、取り組み方針】

既存の地域間交流の推進とともに、国内外との交流の枠が広がる取り組みを進めます。

国際化に対応したまちづくりを進めます。

【施策】

- ・ 国内地域との交流の促進
- ・ 国外との交流、国際社会に対応した地域づくり

◇推進状況

目 標	国内地域との交流の促進
現状・成果	地域ボランティアの協力の下、宮城県東松島市の子どもたちと相互で訪問を行う「海と大地子ども交流事業」を実施している。
課 題	ホームステイにより子どもを含めた家族間同士の相互交流による絆を深め、継続した交流促進を大きな目的としているが、時代の流れや東日本大震災の影響もあってしばらくの間行ってこなかったホームステイの再開を含め、以後継続できるよう随時見直しを図りながら実施していく必要がある。

目 標	国外との交流、国際社会に対応した地域づくり
現状・成果	平成 22～30 年度までは外国語指導助手（A L T）を配置し住民に対する英会話教室を開設していたが、令和元年度は国際交流員配置を再開して段階に応じた英会話教室を開催。気軽に国際感覚を身につけてもらえるよう事業を展開した。 また、子どもたちが身近に英語と触れ合える機会として、ハロウィンやクリスマスなどの行事を実施。 学校教育では学習指導要領改正に伴い、外国語が教科化された小学 5・6 年生は A L T が、外国語活動と位置付けられた小学 3・4 年生及び中学校の英語授業には国際交流員がつき、担当教諭と連携しながら授業の充実強化を図った。
課 題	様々な分野で国際化が急速に進む社会環境への適応に向けての対応を図るため、次年度予算に中学生海外研修事業経費を盛り込んだ。 また、教育現場の外国語教育支援を継続する必要がある。

◇ データ

○ 幼稚園数及び園児数の推移

区分	組、園児数 幼稚園名	組、園児数									
		H27 年度		H28 年度		H29 年度		H30 年度		R 元年度	
幼稚園	更別幼稚園	3	41	3	40	3	38	3	33	3	33
認定こども園	上更別幼稚園	3	11	3	12	2	8	5	10	5	11
	合計	6	52	6	52	5	46	8	43	8	44

○ 小・中学校数及び児童生徒数の推移

区分	組、児童数 学校名	組、児童・生徒数									
		H27 年度		H28 年度		H29 年度		H30 年度		R 元年度	
小学校	更別小学校	10	159	12	153	11	158	10	155	10	148
	上更別小学校	5	25	6	30	6	28	6	26	4	22
	小計	15	184	18	183	17	186	16	181	14	170
中学校	更別中央中学校	5	101	4	90	7	87	6	97	7	101
	合計	20	285	22	273	24	273	22	278	21	271

※ 北海道立更別農業高等学校生徒数の推移

(参考)

学科名	組、生徒数		組、生徒数								
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度						
農業 高校	農業科	3	59	3	57	3	78	3	71	3	65
	生活科学科	3	75	3	86	3	53	3	56	3	64
	合計	6	134	6	143	6	131	6	127	6	129

○ 学校別給食日数（令和元年度）

(単位：日、食)

区 分	給食供給日数	食 数
更別小学校	176	29,100
上更別小学校	176	5,542
更別中央中学校	184	21,294
幼稚園	156	4,897
調理場	191	1,146
試食・その他	191	540
計	1,074	62,519

○ 学校給食主食形態別内訳（令和元年度）

(単位：日、食)

区 分	パ ン	米 飯	めん類	計
回 数	38回	114回	39回	191回
食 数	12,419	35,563	12,721	60,703

○ 教職員住宅の管理状況（令和元年度）

学校名	面積(m ²)	建築年度	戸数	経過年数	備 考
更別小学校	69.22	S 59	2	34	A-1、A-2
	69.22	S 63	2	30	B-1、B-2
	69.22	S 59	2	34	C-1、C-2
	74.82	H 7	2	23	D-1、D-2
	74.82	H 7	2	23	E-1、E-2
	74.82	H 9	2	21	F-1、F-2
	小計			12	
上更別小学校	79.38	S 56	1	37	A
	79.38	S 58	1	35	B
	63.61	S 59	2	34	1-1、1-2
	63.61	S 59	2	34	2-1、2-2
	63.61	S 61	2	32	3-1、3-2
	小計			8	
更別中央 中学校	79.37	H13	2	17	A-1、A-2
	61.56	S 52	1	41	C
	61.56	S 53	1	40	D
	60.75	S 54	1	39	E
	60.75	S 54	1	39	F
	60.75	S 55	1	38	G
	小計			7	
合 計			27		

8. 令和元年度 教育委員会の事務・事業 評価

(1) 評価の目的

評価は、計画 (Plan) ・実施 (Do) ・評価 (Check) ・改善 (Action) というサイクルの中に位置付けられており、成果による施策・事業の管理 (マネジメント) を実現するための手法の一つです。

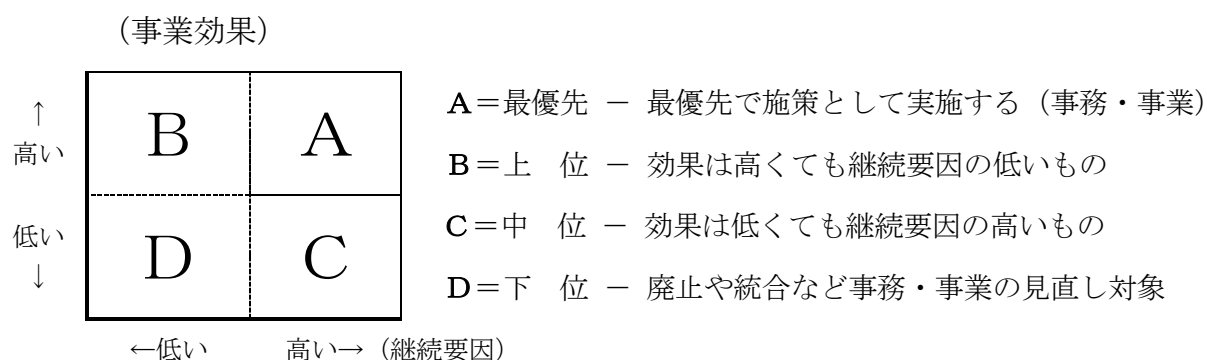
評価の実施によって事務・事業の現状把握や施策の効果測定を行い、課題解決のための意識改革や共通認識の向上を図ることにより、「予算という目的主義から効果や達成度が反映される決算重点主義への転換」と「マネジメントサイクルの確立による効率的な教育行政運営」を目指します。

(2) 評価の区分

- ①一次評価～政策重視、スクラップ・アンド・ビルドの原則のもと、事務局による、所管する事務・事業の評価
- ②教育に関し学識経験を有する者の知見による指導助言
- ③最終評価～教育委員会議による一次評価に対する最終評価

(3) 評価書のランク

評価は事業効果と継続要因の高低により A・B・C・D の 4 ランクに区分し、事務・事業優先度、見直し対象の区分を行い、次年度以降の執行にあたり効果的な教育行政の運営を目指します。



(4) 事務・事業ごとの評価

○ 事務・事業評価書

1) 学校教育関係

No	予算科目	事業名	ランク	No	予算科目	事業名	ランク
1	教育総務費	更別農業高校教育支援事業	A	12	保健体育費	ふるさと給食助成事業	C
2	教育総務費	更別農業高校生生徒確保等支援事業	A	13	保健体育費	給食費保護者負担軽減事業	A
3	教育総務費	指導主事共同設置事業	B	14	教育諸費	教育奨励事業	A
4	教育総務費	こども夢基金事業	A	15	教育諸費	研究奨励事業	A
5	小学校費	更別小・上更別小特別支援教育支援員配置事業	A	16	教育諸費	学芸奨励事業	A
6	小学校費	外国語指導推進事業	A	17	教育諸費	学校スケートリンク造成事業	C
7	小学校費	学校施設改修事業(循環ポンプ更新、屋体玄関床補修、音楽室床貼替、地下タンクライニング工事、アスベスト対策工事)	B	18	教育諸費	各種文化・スポーツ大会派遣事業	A
8	小学校費	プログラミング教育推進事業	B	19	教育諸費	教員住宅維持管理事業	C
9	中学校費	特別支援教育支援員配置事業	A				
10	中学校費	スクールカウンセラー配置事業	A				
11	中学校費	学校施設改修事業(物置電源引込工事)	B				

2) 社会教育関係

No	予算科目	事業名	ランク	No	予算科目	事業名	ランク
1	社会教育費	図書室運営事業	C	14	保健体育費	農村公園維持管理事業	C
2	社会教育費	生涯学習推進事業	A	15	保健体育費	コミュニティプール維持管理事業	C
3	社会教育費	国際交流事業	C	16	保健体育費	農業者トレーニングセンター維持管理事業	C
4	社会教育費	青少年教育推進事業	A	17	保健体育費	地区体育館維持管理事業	D
5	社会教育費	成人教育推進事業	A	18	保健体育費	村民スケートリンク造成事業	A
6	社会教育費	高齢者教育推進事業	A				
7	社会教育費	文化推進事業	A				
8	社会教育費	コミュニティ・スクール推進事業	A				
9	社会教育費	農村環境改善センター維持管理事業	C				
10	保健体育費	スポーツ振興事業	A				
11	保健体育費	スポーツ大会等派遣事業	A				
12	保健体育費	柔剣道場維持管理事業	C				
13	保健体育費	運動広場維持管理事業	C				

9. 更別村教育委員会の活動状況に関する点検・評価等に対する指導・助言事項

頁	点検・評価事項	指導・助言事項
24	スポーツ施設の充実	施設の適切な維持管理とあるが、村民グラウンド、主に野球場の維持管理に対し、村として適切な管理が行われていないのではないかと。 村として出来ないのであれば、外部委託も含め検討するか、現状管理している少年団等へ維持管理費の支出もどうか。
※16 (37)	※教育奨励事業 (学芸奨励事業)	年度末に教育奨励賞を渡しているが、子どもたちの励みにもなると思うので毎年度表彰してほしい。 現行、小学校は1～5年で一度、6年で一度らしいので。

- 指導・助言者
- ・ 水口 恵充 (更別村PTA連合会会長)
 - ・ 渡辺 正男 (元更別村教育長職務代理者)